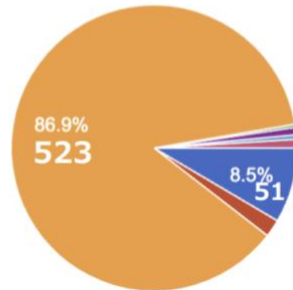




1. 香害や化学物質過敏症について、あなたが一番近いと思う認識はどれですか？



602 件の回答



- 51 (8.5%) ● 香害は化学物質過敏症と同じ健康被害のことで、発症者だけが困っている問題
- 12 (2.0%) ● 香害は原因物質がなければ健康被害は生じないので、化学物質過敏症発症とま...
- 523 (86.9%) ● 香害は健康被害を生じさせる「製品の問題」であり、全ての人に関わる「公害...
- 2 (0.3%) ● 香害は強い香りを不快と感じる、好き...
- 5 (0.8%) ● どれもあてはまらない
- 3 (0.5%) ● よくわからない
- 6 (1.0%) ● その他

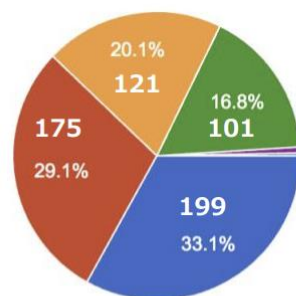
問 1

「香害は健康被害を生じさせる「製品の問題」であり、全ての人に関わる「公害」のような問題」であると回答したのが「523 人」で 86.9%と最も多く、次いで、「香害は化学物質過敏症と同じ健康被害のことで、発症者だけが困っている問題」との回答が「51 人」8.5%であった。香害がメディアで記事として取り上げられる際など、香害と化学物質過敏症を同じものであるように扱われていることが多く、発症者だけが困っている問題として認識されているようだが、当事者の多くは、香害は「製品の問題」であり、「公害」という社会問題になっているという視点を持っている。当事者だけではなく、多くの人に認識してもらいたいところである。

2. あなたは、「化学物質過敏症」（以降CS）を発症していますか？



602 件の回答



- 199 (33.1%) ● 診断を受けている
- 175 (29.1%) ● 診断は受けていないが、発症していると思う
- 121 (20.1%) ● 傾向はあるが、発症とまではいかない
- 101 (16.8%) ● 発症はしていない
- 4 (0.7%) ● 不明
- 2 (0.3%) ● その他

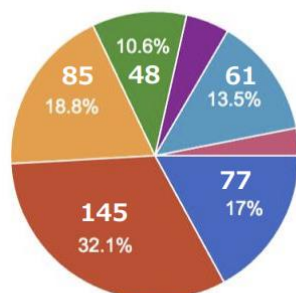
問 2

「診断を受けている」「診断は受けていないが、発症していると思う」を合わせると、「374 人」で、62.1%が化学物質過敏症であることを認識しているが、約 4 割は発症とまではいかないと回答しており、香害は、発症者だけの問題ではないことがわかる。

3. CSと思われる方に質問です。どのくらい前に、CSを発症したと思われますか？



452 件の回答



- 77 (17.0%) ● 2年以内
- 145 (32.1%) ● 5年以内
- 85 (18.8%) ● 10年以内
- 48 (10.6%) ● 15年以内
- 22 (4.9%) ● 20年以内
- 61 (13.5%) ● もっと前
- 14 (3.1%) ● よくわからない

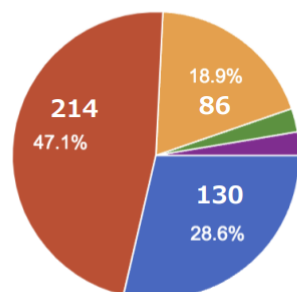
問 3

「5 年以内」という回答が「145 人」32.1%で最も多く、次いで「10 年以内」が「85 人」18.8%、「2 年以内」が「77 人」17.0%となっている。10 年以内から 2 年以内を合計すると「307 人」67.9%となり、7 割は 10 年以内に発症していることがわかる。5 年以内と 2 年以内とを合計すると「222 人」49.1%となり、半数が 5 年以内に発症しており、ここ数年で発症者が増えていることがわかる。

4. CSと思われる方に質問です。CS発症してから香害に悩まされるようになったのか、それとも、香害によってCSを発症したのか、どちらですか？



454 件の回答



- 130 (28.6%) ● 別の要因で既にCSを発症しており、香害にも悩まされるようになった
- 214 (47.1%) ● 柔軟剤などの香料製品から香害を感じるようになり、その後にCS症状が出るようになった
- 86 (18.9%) ● 香害によって、自分がもともとCSの兆候があることに気づいた
- 12 (2.6%) ● わからない
- 12 (2.6%) ● その他

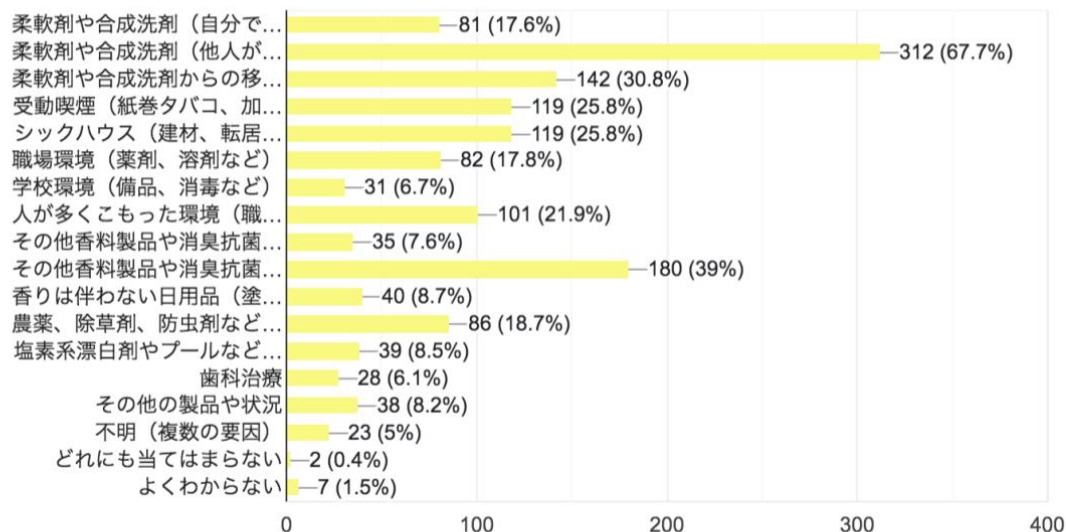
問 4

「柔軟剤などの香料製品から香害を感じるようになり、その後に CS 症状が出るようになった」という回答が、「214 人」47.1%と最も多く、「香害によって、自分がもともと CS の兆候があることに気づいた」と回答している「86 人」18.9%を加えると、「300 人」66%、つまり 7 割弱の人が香料製品から影響を受けている。「別の要因で既に CS を発症しており、香害にも悩まされるようになった」は「130 人」28.6%であった。香害は、「元々、化学物質過敏症を発症している人だけが感じている問題」と認識されがちであるが、そうではなく、柔軟剤などの香料製品によって逆に発症者が増えていることがわかる。

※ 問 2 (CS 発症者のみ)、問 3 (発症の時期)、問 4 (発症の前後関係) の 3 項目で「クロス集計」した結果は、別項目をご参照ください。

5. CSと思われる方に質問です。発症のきっかけと思われるものは？（複数回答可、もっとも当てはまると思われる項目を、なるべく3つ以内でチェックをお願いします）

461 件の回答



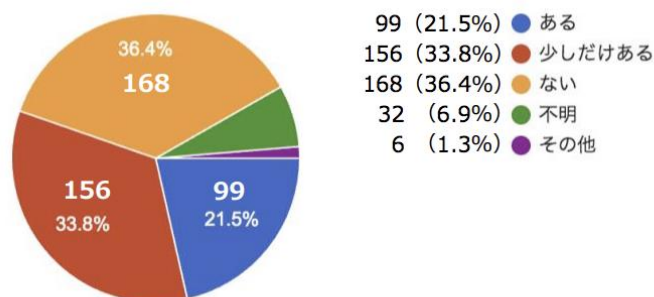
問 5

「柔軟剤や合成洗剤（他人が使用）」の回答が「312 人」67.7%と、圧倒的に多く、次いで、「その他香料製品や消臭抗菌製品（他人が使用）」が「180 人」39%となっている。いかに日用品からの香害、しかも、自分が使っていたわけではなく他人が使用した製品からの被害であることがわかる。「柔軟剤や合成洗剤からの移香（三次汚染）」も「142 人」30.8%となっており、移香でも影響が出ているようである。以前は、「シックハウス症候群」や「受動喫煙」での CS 発症が多いという認識だったが、今回の回答では、いずれも「119 人」25.8%ずつと相対的に多くないため、香害が CS 発症のきっかけになってきていることがわかる。

（注：ただし、「きっかけ」を質問しているのに、全部を選んでしまっている人が多数おり、「何に反応するか」という質問と履き違えている可能性があり、正確さに欠ける結果となっている。）

6. CSと思われる方に質問です。ご家族にも同じような症状がありますか？

461 件の回答



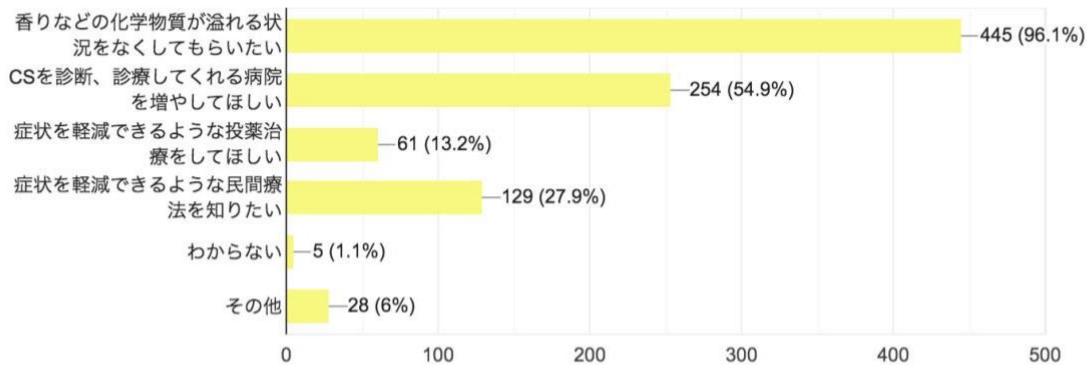
問 6

家族にも同じような症状が、「ある」「少しだけある」を加えると、「255 人」55.3%と半数以上となり、CS は体質的な要因や環境的な要因が関係している可能性がある。

7. CSと思われる方に質問です。症状の改善や治療に関してどのように考えますか？（複数回答可）



463 件の回答



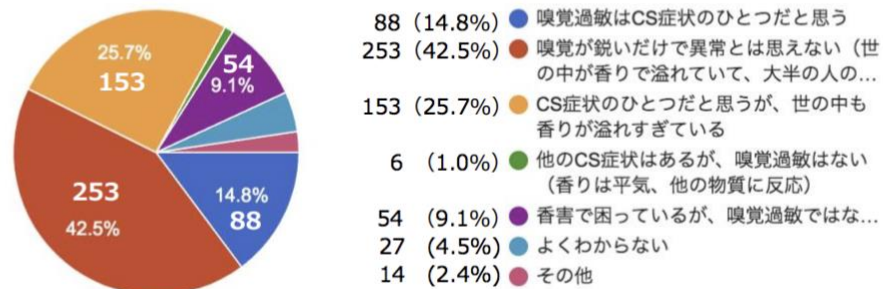
問 7

「香りなどの化学物質が溢れる状況をなくしてもらいたい」が「445 人」96.1%と圧倒的に多く、次いで、「CS を診断、診療してくれる病院を増やしてほしい」が「254 人」54.9%であった。一方、「症状を軽減できるような投薬治療をしてほしい」との回答は「61 人」13.2%と少ないだけでなく、複数回答でこの項目だけを選んだ人は 0 人であった。症状を軽減するには、まずは化学物質が溢れる今の状況を改善しなければ、投薬治療で症状が軽減できたとしても、本当の解決にはならないことを多くの人が理解しているのではないか。

8. 嗅覚過敏についてどう思いますか？



595 件の回答



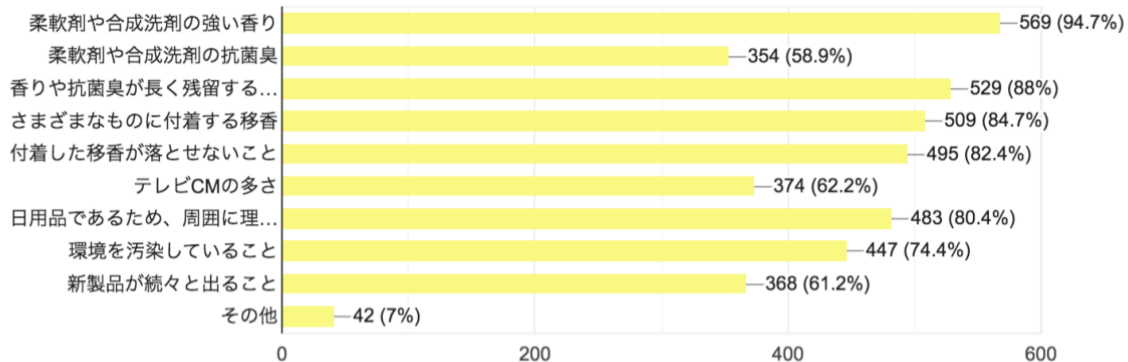
問 8

「嗅覚が鋭いだけで異常とは思えない(世の中が香りで溢れていて、大半の人の嗅覚が鈍くなっている)」が「253 人」42.5%と最も多く、次いで、「CS 症状のひとつだと思うが、世の中も香りが溢れすぎている」が「153 人」25.7%であった。一方、「嗅覚過敏は CS 症状のひとつだと思う」は「88 人」14.8%と多くない。メディアの報道などでは、「香りを感じる人は CS 発症者」であるかのような捉え方をされていることが多いが、日常で香料製品を使用していない人の場合、僅かな香りでも感じ取るのは当然のことであり、嗅覚が過敏であることが問題なのではなく、香りが溢れすぎていることが問題なのではないだろうか。

9. 柔軟剤や合成洗剤からの香害でもっとも不快に感じる状況はどれですか？（複数回答可）



601 件の回答



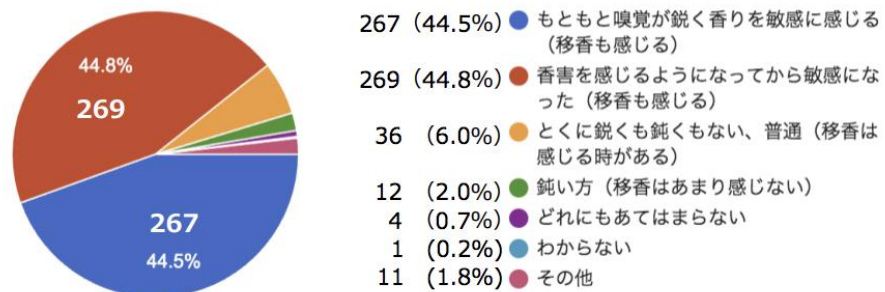
問 9

「柔軟剤や合成洗剤の強い香り」が「569 人」94.7%と最も多く、次いで、「香りや抗菌臭が長く残留すること」が「529 人」88%となっているが、複数回答で、全部を選んだ、という人もあり、どれも外せない問題という認識だろうか。

10. 香りや移香の感じ方（鋭敏度）について



600 件の回答



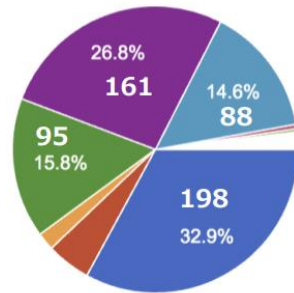
問 10

「香害を感じるようになってから敏感になった（移香も感じる）」が「269 人」44.8%と、「もともと嗅覚が鋭く香りを敏感に感じる（移香も感じる）」が「267 人」44.5%と拮抗している。もともと鋭敏度が高かったり、香害によって鋭敏度が高くなったことで、香害に悩まされていることがわかる。

11. 香りの好き嫌いについて

コピー

601 件の回答



- 198 (32.9%) ● もともと強い香りは苦手
- 30 (5.0%) ● とくに苦手ではない、普通
- 12 (2.0%) ● 香りは好きな方
- 95 (15.8%) ● 香りは好きだったが苦手になった
- 161 (26.8%) ● 合成香料は苦手だが、天然香料は好き
- 88 (14.6%) ● 香りによって異なる
- 3 (0.5%) ● どれも当てはまらない
- 2 (0.3%) ● よくわからない
- 12 (2.0%) ● その他

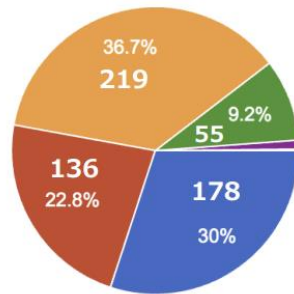
問 11

「もともと強い香りは苦手」が「198 人」32.9%と最も多く、次いで、「合成香料は苦手だが、天然香料は好き」が「161 人」26.8%であった。もともと強い香りが苦手であったり、人工的な合成香料が苦手であるのに、現在のように日常に合成化学香料製品が溢れている状況が問題であることがわかる。

12. 花粉症はありますか？

コピー

596 件の回答



- 178 (30%) ● ある
- 136 (22.8%) ● 少しだけある
- 219 (36.7%) ● ない
- 55 (9.2%) ● あったが改善した
- 6 (1.0%) ● 不明
- 1 (0.2%) ● その他

問 12

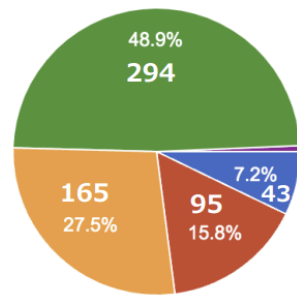
「ある」「少しだけある」を加えると「315 人」52.8%となり 6 割が花粉症があることになるが、一般と比較してどうなのかは、CS 発症者だけに絞った集計が必要か。

※ 問 2 (CS 発症者)、問 12 (花粉症の有無) で「クロス集計」した結果は、別項目をご参照ください。

13. 他のアレルギー疾患（アトピー性皮膚炎、ぜんそく、食物アレルギーなど）はありますか？



601 件の回答



43 (7.2%) ● ある（比較的重い）
95 (15.8%) ● ある（中程度～軽度）
165 (27.5%) ● 少しあるが生活に支障がない程度
294 (48.9%) ● ない、ほとんどない
4 (0.7%) ● 不明

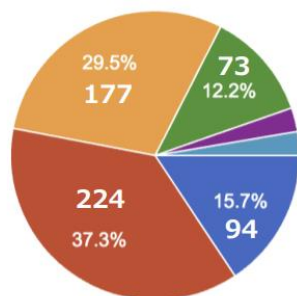
問 13

「ない、ほとんどない」が「294 人」48.9%と最も多く、約半数である。一方、「ある（比較的重い）」「ある（中程度～軽度）」「少しあるが生活に支障がない程度」を合成すると「303 人」50.4%と、こちらも約半数であった。こちらに関して一般と比較してどうなのかは、CS 発症者だけに絞った集計が必要か。

14. アルコール代謝について



600 件の回答



94 (15.7%) ● お酒に強い体質
224 (37.3%) ● 強くはないがある程度飲める体質
177 (29.5%) ● お酒に弱い体質
73 (12.2%) ● 全く飲めない体質
16 (2.7%) ● 不明
16 (2.7%) ● その他

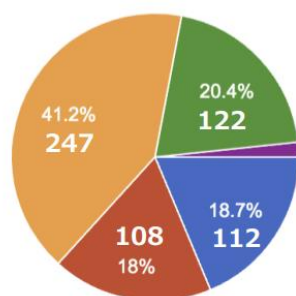
問 14

「強くはないがある程度飲める体質」が「224 人」37.3%と多かったが、こちらも一般と比較してどうなのかは、CS 発症者だけに絞った集計が必要か。

15. 電磁波過敏はありますか？

コピー

599 件の回答



- 112 (18.7%) ● 電磁波過敏がある
- 108 (18.0%) ● その他の過敏症状（光過敏、聴覚過敏、接触過敏など）がある
- 247 (41.2%) ● ない
- 122 (20.4%) ● 不明
- 10 (1.7%) ● その他

問 15

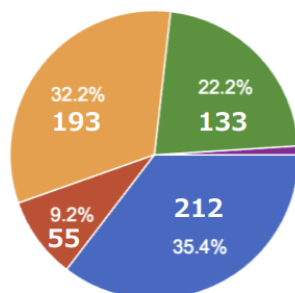
「ない」が「247 人」41.2%と最も多かった。CS 発症者に電磁波過敏症が併発することが多いといわれているので、こちらにも、CS 発症者に絞った集計が必要か。

※ 問 2（CS 発症者）、問 15（電磁波過敏の有無）で「クロス集計」した結果は、別項目をご参照ください。

16. 居住環境

コピー

599 件の回答



- 212 (35.4%) ● 都市部（近隣からの洗濯物の影響あり）
- 55 (9.2%) ● 都市部（近隣からの洗濯物の影響はあまりない）
- 193 (32.2%) ● 郊外（近隣からの洗濯物の影響あり）
- 133 (22.2%) ● 郊外（近隣からの洗濯物の影響はあまりない）
- 6 (1.0%) ● その他

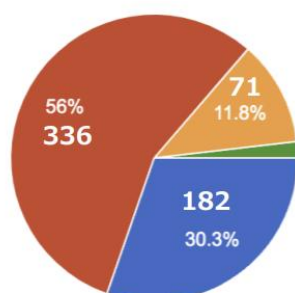
問 16

「郊外」在住が「326 人」54.4%と半数以上。次の交通手段との回答とリンクするところがある。

17. 交通手段で多く利用するものは？

コピー

600 件の回答



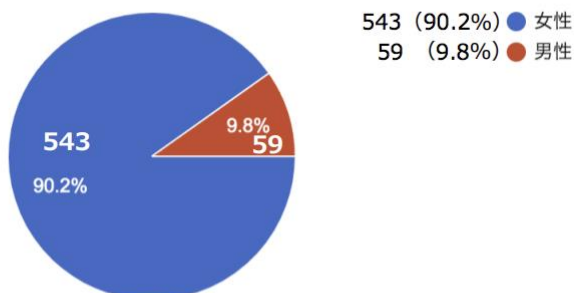
- 182 (30.3%) ● 電車やバス
- 336 (56.0%) ● 自家用車（車やバイク）
- 71 (11.8%) ● 徒歩や自転車のみしか使わない
- 11 (1.8%) ● その他

問 17

「自家用車(車やバイク)」が「336 人」56.0%と半数以上。これは居住地域によるものであろう。「電車やバス」は「182 人」30.3%で、公共交通機関の座席からの「移香」の影響を受けているのは、この 3 割程度だと考えられる。

18. 性別 (生物学的な)

602 件の回答

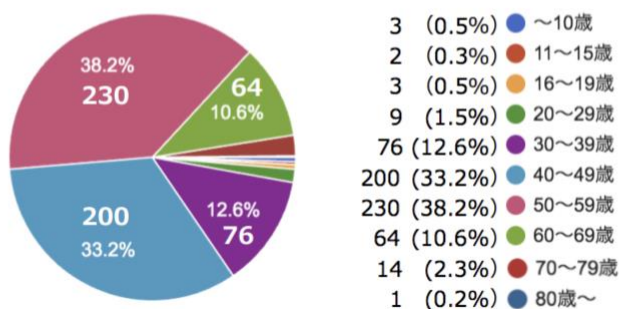


問 18

「女性」が「543 人」90.2%と、圧倒的に多い。これまでの香害アンケートも女性の回答が多いことや、化学物質過敏症の発症者も 4 分の 3 は女性といわれており、今回もその傾向が出ている。

19. 年齢

602 件の回答



問 19

「50～59 歳」が「230 人」38.2%、「40～49 歳」が「200 人」33.2%と多かった。次いで、「30～39 歳」が「76 人」12.6%、「60～69 歳」が「64 人」10.6%であった。年齢層に関しては、Facebook ユーザーが多い FB ページで呼びかけた関係で、40～50 歳代が多いという可能性もある。30～60 歳代を合計すると、94.7%と大半を占めている。